

# ガス給湯器 取扱説明書

保証書付

(商業用 / 業務用専用)

型番	型式名
633-1014型	GS-A5000GE
633-1004型	GS-A3200GE

マルチコントローラ

型番	型式名
638-1022型	MC-08



写真は633-1014型

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知らせください。

**大阪ガス**

## もくじ

ページ

安全に正しくお使いいただくために……………	1
この取扱説明書の表示について……………	1
機器本体の表示について……………	1
必ずお守りください……………	1
各部の名称とはたらき……………	6
機器本体……………	6
システム例……………	6
機器本体……………	7
システム例……………	7
マルチコントローラ……………	8
メインリモコン……………	8
サブリモコン……………	9
防湿形サブリモコン……………	9
ご利用前の準備……………	10
機器の準備……………	10
現在時刻を合わせる……………	10

お湯を使うには……………	11
リモコンなしでお湯を使用する……………	11
リモコンでお湯を使用する……………	11
給湯温度の目安……………	12
優先切替について……………	12
プログラム運転を使う……………	13
プログラム時刻の設定……………	13
プログラム運転をする……………	14
プログラム運転の解除……………	14
ロック機能……………	15
ロック機能の設定と解除……………	15
メインリモコンのその他の機能……………	16
ブザーの音量を変更する……………	16
省電力機能について……………	16

冬の凍結予防をするには……………	17
凍結予防装置による方法……………	17
給湯栓の水を流す方法……………	17
機器の水を抜く方法……………	18
再使用するとき……………	19
凍結したときは……………	20
点検のポイント・お手入れのしかた……………	21
点検のポイント(月1回程度)……………	21
定期点検のおすすめ(有料)……………	21
お手入れのしかた……………	21
給気フィルターの掃除(こまめに掃除)……………	22
給水口フィルターの掃除……………	23
点検・お手入れ後の確認……………	23
故障かな?と思ったら……………	24
こんなときは故障ではありません……………	25
アラーム表示について……………	26
アフターサービスについて……………	27
仕様一覧……………	28
保証書……………	裏表紙

お使いいただく前に

使い方

長くお使いいただくために

# 安全に正しくお使いいただくために

## ■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

- 危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- 警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- お願い** ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。  
(→P.XX) 参照ページを示しています。

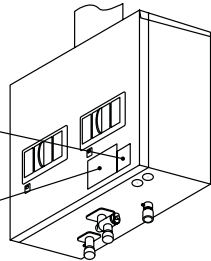
## ■機器本体の表示について

### 銘板

品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。

### 使用上の注意

使用上の注意について表示しています。



(図は633-1014型を示します)

# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

## 危険

### ガス漏れに気づいたときは

- ① すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
- ② ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③ 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ④ お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。



### 全ての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
  - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
  - ・電源プラグの抜き差しをしない
  - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



### 換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない。不完全燃焼の原因となります。
- 機器を使用の際は台所や脱衣室などの換気扇を使用しない。一酸化炭素中毒の原因となります。

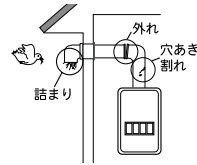


# 必ずお守りください

## 危険

### 排気筒(トップ)の定期点検

- 排気筒(トップ)が外れたり、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



## 警告

### 屋外に設置しない

- 雨水の浸入などで、故障の原因になります。



### 機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



### 増改築などで排気筒トップを屋内状態にしない

- 設置後、排気筒トップを波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



### このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気筒トップを覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



### 給気口・排気筒トップの前方に物置いたり洗濯物をおおわない

- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



### ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。



### 機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



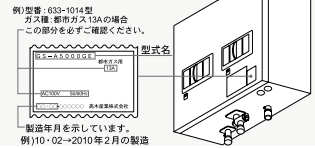
### 改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの思わぬ事故や火災・故障の原因となります。



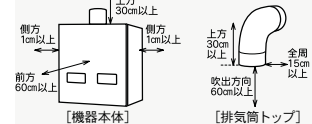
### 機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P.27)



### 火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の隔離距離を確保する。



- 機器および排気筒(トップを含む)の周囲には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器および排気筒(トップを含む)の周囲では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器および排気筒(トップを含む)の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



### 機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気筒(トップを含む)付近に触らない。やけどのおそれがあります。



# 必ずお守りください

## 警告

### 異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は以下の手順に従う。
  - ①給湯栓を閉じる。
  - ②運転スイッチを「切」にする。
  - ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
  - ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
  - ②「故障かな?と思ったら」(→P. 24 ~ 26)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

### アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



### お子様には十分な注意を

- 浴槽にお湯張りしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。



### 電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。



### 許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などで定格を超える使い方をしない。発熱による火災の原因となります。



## 注意

### ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。



### 凍結による水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。



### 給湯・シャワー使用時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
  - ・お湯を再使用するとき
  - ・給水圧が下がったとき
  - ・お湯の量を急に少なくしたとき
  - ・機器が故障したとき
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



- 電源プラグのほりこりなどは定期的に取り除く。電源プラグにほりこりがたまる、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根本まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 濡れた手で電源プラグに触らない。感電のおそれがあります。



### 使用中の外出・就寝禁止

- 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない。火災の原因になります。



# 必ずお守りください

## 注意

### 用途についての注意

- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。



### 掛け台カバーについての注意

- 掛け台カバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。(→P.23)



## お願い

### 市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正品以外には使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

### リモコンの扱いについて

- 防湿形サブリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。メン・サブリモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいとずらししないよう注意してください。

### 電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷等)以外は電源プラグを抜かないでください。

### 飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たった水(例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

### 通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。(冬の凍結予防を除く)

### 特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に 関する法律第6条の規定による表示	
工事業者の名称 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

### 運転停止(消火)時の注意

- 機器の使用(燃焼)中に、ガス栓を操作して消火しないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いての消火も、しないでください。

### 雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



### 雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

### 停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの設定や表示を確認したあとご使用ください。

### 断水のと看

- 断水のと看は、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまる場合があります。

### 凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬の凍結予防をするには」(→P.17)に従って処置してください。急ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。凍結したときは「凍結したときは」(→P.19)に従って処置をしてください。

お使いいただく前に

# 必ずお守りください

## お願い

### 乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

### ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

### 長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P.18)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

## お願い 設置する場所や状況について

### 設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼ファン)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 壁などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。
- 厨房への設置は避けてください。油煙により機器が故障したり、著しく寿命を低下させるおそれがあります。

### 給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。
- 24時間換気システムのと看、室内の給気口・排気口をふさがないでください。機器の凍結の原因となります。

### 塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

### スプレー使用注意

- 機器の近くでヘアースプレーなどのシリコン系スプレーを使わないでください。故障の原因になります。

### 日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.21)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一起色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。

### 排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気筒トップの周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

### 地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴があくなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

### 塩ビ管の使用について

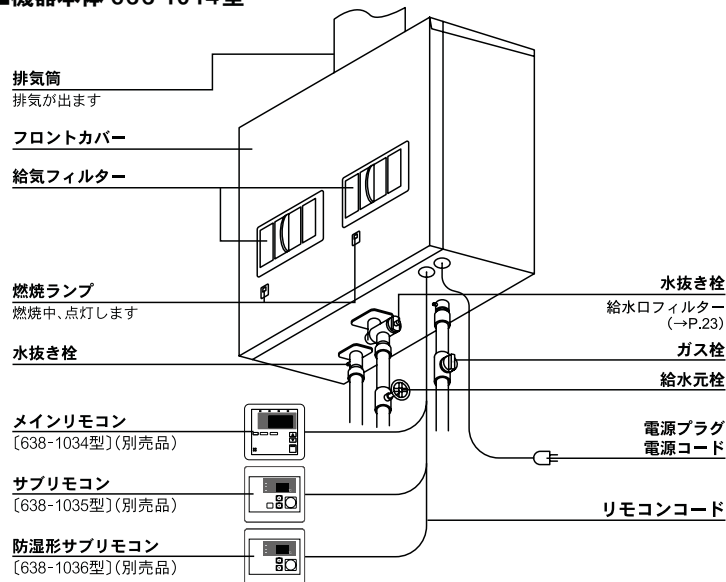
- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

### ほこり

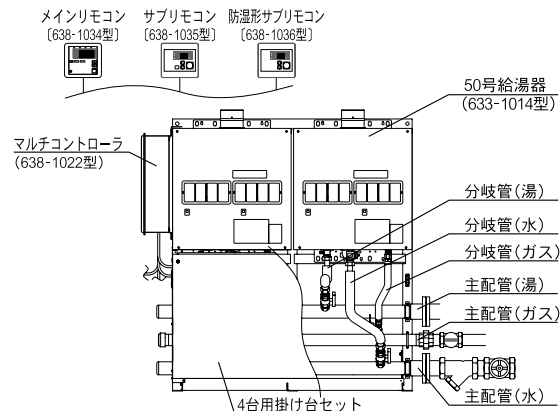
- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気フィルターをふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

# 各部の名称とはたらき

## ■機器本体 633-1014型

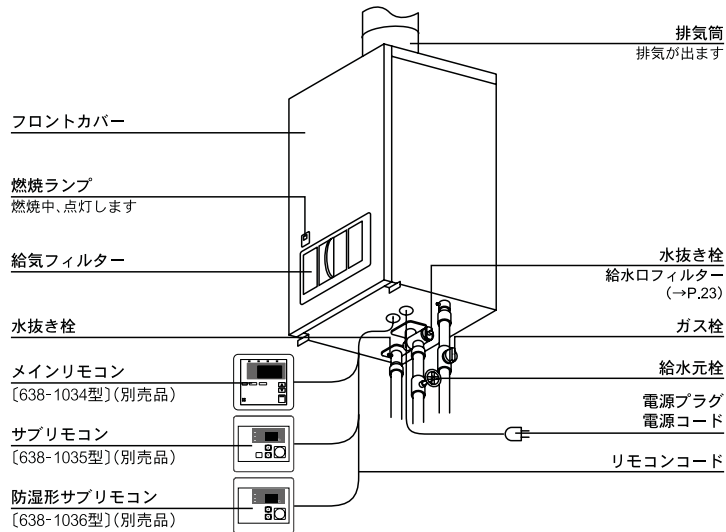


## ■システム例(複数台設置)

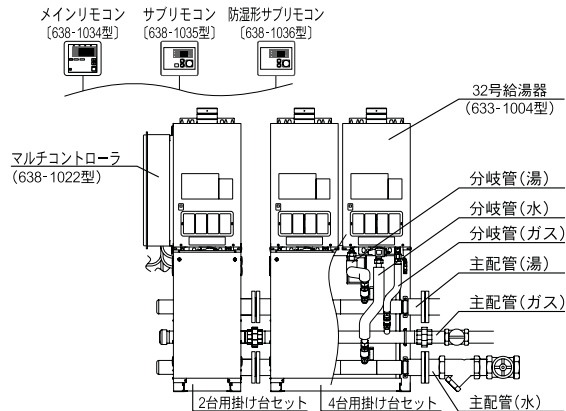


# 各部の名称とはたらき

## ■機器本体 633-1004型

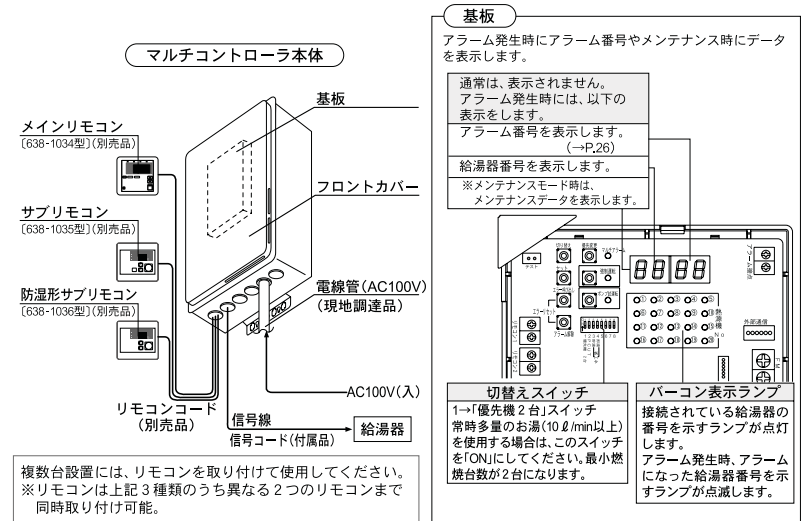


## ■システム例(複数台設置)



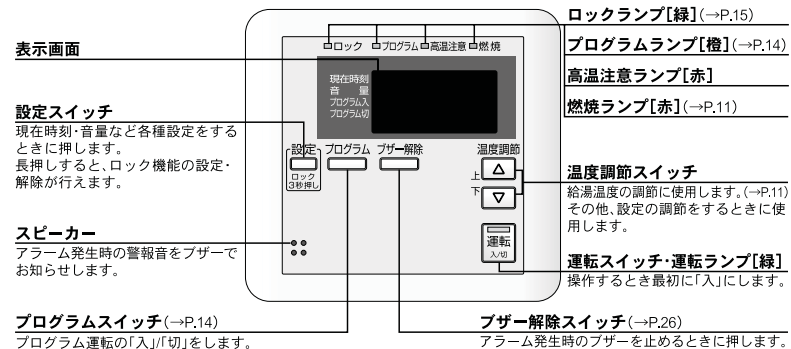
# 各部の名称とはたらき

## ■マルチコントローラ 638-1022型(別売品)



## ■メインリモコン 638-1034型(別売品)

給湯温度の調節やプログラム運転などの操作ができます。



お使いいただく前に



# 各部の名称とはたらき

## □メインリモコン表示画面

※図の画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示(→P.10)

現在時刻を表示します。

音量表示(→P.16)

ブザーの音量設定時に1桁で音量を表示します。

プログラム時刻表示(→P.13)

プログラム運転設定時にプログラム「入」「切」時刻を表示します。



アラーム表示(→P.26)

機器に不具合が生じたとき、3桁でアラームを表示します。

給湯温度表示(→P.16)

給湯温度を℃で表示します。

優先表示(→P.12)

本体操作部が優先のとき表示します。

## ■サブリモコン 638-1035型(別売品)

給湯温度の調節やアラーム発生時のブザーの停止ができます。

優先ランプ[緑](→P.12)

燃焼ランプ[赤](→P.12)

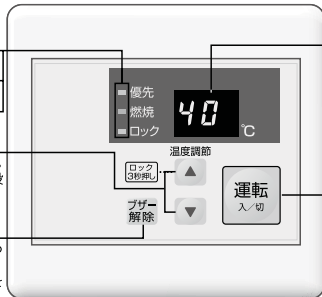
ロックランプ[緑](→P.15)

温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときを押します。  
▲を長押しすると、ロック機能の設定・解除が行えます。

ブザー解除スイッチ(→P.26)

アラーム発生時のブザーを止めるときに押します。  
また、3秒以上長押しするとブザーを鳴らなくする設定もできます。



給湯温度表示(→P.11)

運転スイッチ「入」のとき、給湯温度を表示します。

アラーム表示(→P.26)

機器に不具合が生じたとき、2桁でアラームを表示します。

運転スイッチ

操作するとき最初に押して「入」にします。

## ■防湿形サブリモコン 638-1036型(別売品)

給湯温度の調節や優先の切り替えができます。防湿タイプなので、浴室や水回りなどに設置することができます。

優先ランプ[緑](→P.12)

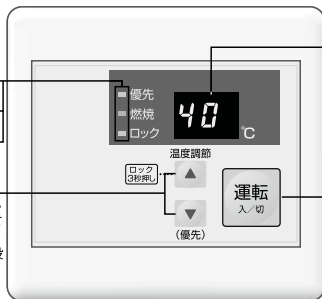
燃焼ランプ[赤](→P.11)

ロックランプ[緑](→P.15)

温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときを押します。  
▼を押すと、優先の切り替えができます。

▲を長押しすると、ロック機能の設定・解除が行えます。



給湯温度表示(→P.11)

運転スイッチ「入」のとき、給湯温度を表示します。

アラーム表示(→P.26)

機器に不具合が生じたとき、2桁でアラームを表示します。

運転スイッチ

操作するとき最初に押して「入」にします。

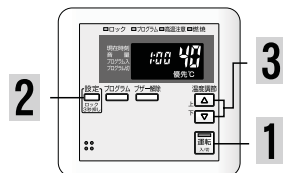
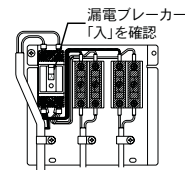
# ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

## ■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います  
点検のポイント(→P. 21)をご覧ください。
- 2 給水元栓を全開にします  
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開けます  
水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします  
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます  
機器周辺にあります。

マルチコントローラ(638-1022型)を取り付けている場合  
マルチコントローラのフロントカバーを開けて、漏電ブレーカーの「入」を確認します。



## ■現在時刻を合わせる

メインリモコンの現在時刻を合わせます。

操作	操作後の画面	説明
1 [運転(入)]を押して「入」にします	現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切 優先°C	
2 現在時刻の右に<が表示するまで設定を押します	現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切 優先°C	現在時刻が点滅します。
3 上[Δ]または下[▽]を押して現在時刻を設定します	現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切 優先°C 【例】午後1:00に設定	※現在時刻点滅中に設定を押すと、音量の設定に移ります。(→P. 16)
現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します	現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切 優先°C	



●現在時刻は24時間制(例:午後1:00→13:00)で表示されます。

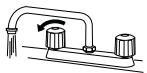
●出荷時の時刻表示は「1:00」になっています。停電または電源プラグを抜いた状態が30分以上続いた場合には、出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定を行ってください。

# お湯を使うには

## ■リモコンなしでお湯を使用する

給湯栓を開ければお湯が出ます。お湯の温度は約60℃定温(工場出荷時)になりますので、必ず混合水温をお使いください。

### 1 給湯栓を開けてお湯を出します



### 2 水を混ぜて温度を調節します 使い終わったら給湯栓・給水栓を閉じてお湯を止めます



**警告**  
●給湯・シャワーを使うときは、手で温度を確かめてから使う。怠るとやけどのおそれがあります。



- マルチ設置時・簡易マルチ設置時は、リモコンなしで使用することはできません。
- 混合水栓にはサーモスタット付き、シングルレバータイプ、止水機能付きなどさまざまな種類があります。やけどを防ぐため、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- この機器は約60℃定温出湯の他に約45℃・約70℃・約80℃の定温出湯が可能です。設定温度を変更する場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

## ■リモコンでお湯を使用する

リモコンの運転スイッチを「入」にして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

操作	操作後の画面	説明
<b>1</b> 運転ランプの点灯を確認します 給湯温度を確認します	現在時刻 12:00 プログラム プログラム プログラム 優先°C	運転ランプが点灯していないときは、を押します。 サブリモコン・防湿形サブリモコンの場合は、給湯温度が表示していないときは、を押します。
<b>2</b> 給湯温度を変更する場合はの点灯を確認して「」または「」を押します	現在時刻 12:00 プログラム プログラム プログラム 優先°C	温度変更ができない場合はの表示(サブリモコン・防湿形サブリモコンの場合は優先ランプの点灯)を確認します。(→P.12)
<b>3</b> 給湯栓を開けます	ロック プログラム 高温注意 燃焼 現在時刻 12:00 プログラム プログラム プログラム 優先°C	リモコンの燃焼ランプが点灯します。
<b>4</b> 給湯栓を閉じます	ロック プログラム 高温注意 燃焼 現在時刻 12:00 プログラム プログラム プログラム 優先°C	燃焼ランプが消灯します。 ※他の給湯栓が使用中のときは消えません。

**警告** ●給湯・シャワーを使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

### ●ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 使い始めは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 水温が30℃近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なくと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を増やすか、水と混合してお使いください。
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。

# お湯を使うには

## ■給湯温度の目安

給湯温度は、標準設定または高温設定のどちらかに設定できます。設定は、設置工事時に行いますので、給湯温度設定の内容は施工業者に確認してください。

ご使用の目安	工場出荷時標準 、高温  (単位:°C)																
標準設定	32	35	37	38	39		40	41	42	43	45	47	50	55	60	70	75
高温設定	低温																
使用用途	食器洗いなど				シャワー・給湯など				給湯など				高温				

機器の取り替え等で従来のリモコンをそのまま使用する場合や即湯ユニット(QB-3)を接続し、リモコンの温度設定を「設定1」にしてある場合は、以下の設定温度となります。

ご使用の目安	工場出荷時  (単位:°C)																		
標準設定	37	38	39	40	41		42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75	80	
高温設定	37	38	39	40	41		42	43	44	45	—	—	50	55	60	65	70	75	80
使用用途	食器洗いなど				シャワー・給湯など				給湯など				高温						

## □高温注意ランプについて

給湯温度を50℃以上に設定すると、メインリモコンの高温注意ランプが点灯します。



- 給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶しています。また、一度通電が止まって再通電した場合でも、設定した給湯温度を表示します。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

## ■優先切替について

給湯温度の調節を可能にするにはもしくは優先ランプの点灯が必要です。このもしくは優先ランプの点灯を切り替えることを「優先切替」といいます。

給湯温度を調節できない場合	優先切替を行う(調整可能)	給湯温度を調節できる状態
優先が表示されていない 	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする ※サブリモコン(638-1035型)も同様の方法で優先を切り替えることができます。	優先表示あり 
優先ランプが点灯していない 	温度調節  /  を押します (優先)	優先ランプ点灯 

**警告** ●給湯・シャワーの使用中に優先を切り替えない。お湯の温度が急変して、やけどのおそれがあります。

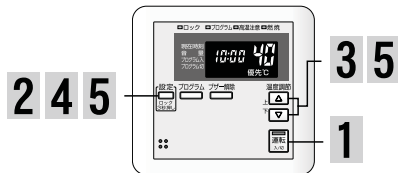
### ●ご注意ください

- 優先を切り替えるときには、他の場所で使われていないことを確認してから切り替えてください。
- 別売のサブリモコン(638-1035型)を設置している場合
  - ・メインリモコンが優先のときは、サブリモコンも優先になります。
  - ・サブリモコンとメインリモコンは連動しています。サブリモコンの運転スイッチを「入」にすると、サブリモコンの優先ランプとメインリモコンのが表示され、サブリモコンでも給湯温度の変更ができます。



# プログラム運転を使う

プログラム運転は、毎日決まった時刻に自動で運転の「入」「切」をします。



## ■プログラム時刻の設定

操作	操作後の画面	説明
<b>1</b> を押して「入」にします		
<b>2</b> プログラム入の右側に  が表示するまで  を押します		プログラム入時刻が点滅します。
<b>3</b> または  を押して、プログラム入時刻を設定します 【例午前8:00に設定】		
<b>4</b> プログラム切の右側に  が表示するまで  を押します		プログラム切時刻が点滅します。
<b>5</b> または  を押して、プログラム切時刻を設定します 【例午後10:00に設定】 設定  を押す、もしくはしばらく押し操作がないと確定します	 	

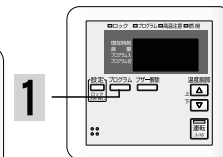
- 設定したプログラム時刻は次回変更するまで記憶されますので毎回設定する必要はありません。
- プログラム時刻の設定は運転スイッチの「入」「切」に関係なく設定ができます。

# プログラム運転を使う

## ■プログラム運転をする

プログラム運転を行うときは、以下のことを確認してください。

- 現在時刻が合っているかを確認。(→P.10)
- プログラム運転の設定時刻を確認。
- ※プログラム時刻の変更はプログラム時刻の設定(→P.13)をご覧ください。



操作	操作後の画面	説明
<b>1</b> プログラム  を押します 設定したプログラム時刻になると自動的に運転の「入」「切」を行います <b>【プログラム運転「入」】</b> プログラム「入」時刻になると運転「入」になります <b>【プログラム運転「切」】</b> プログラム「切」時刻になると運転「切」になります	  	プログラムランプが点灯します。 ※プログラムランプを点灯した状態にしておけば、毎日同じ時間に運転の「入」「切」を行います。 メインリモコンでは運転ランプと画面を表示します。 サブリモコン・防湿形サブリモコンでは給湯温度を表示します。 メインリモコンでは運転ランプと画面が消えます。 サブリモコン・防湿形サブリモコンでは給湯温度が消えます。

- 停電または電源プラグを抜いた状態が30分以上続いた場合には、プログラム運転が解除されます。再度 を押して設定し直してください。

## プログラム運転「入」中に運転を停止したいときは

を押します。運転ランプが消灯し、運転を停止します。プログラム運転の解除にはなりませんので、プログラム運転「入」中にもう一度 を押すとプログラム運転「入」の状態に戻ります。

## ■プログラム運転の解除

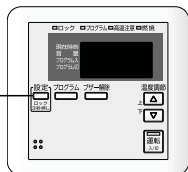
操作	操作後の画面	説明
<b>1</b> プログラム  を押します		プログラムランプが消灯します。

- プログラム運転「入」中に を押すと、プログラムランプが消えプログラム運転の解除となりますが、運転ランプは点灯したままで運転スイッチ「切」にはなりません。

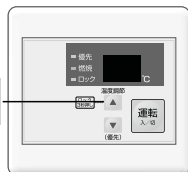


# ロック機能

設定  
解除



設定  
解除



ロック機能の設定/解除は各リモコンで個別に行います。操作の方法は運転スイッチ「切」の状態の説明します。

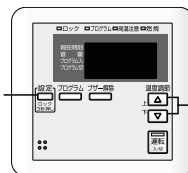
## ■ロック機能の設定と解除

操 作	操作後の画面	説 明
<b>設定</b> <b>【メインリモコン】</b> 設定  を“ピピッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます		ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外のリモコン操作はできません。
<b>【浴室・サブリモコン】</b> ▲ を“ピピッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます		ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外のリモコン操作はできません。
<b>解除</b> <b>【メインリモコン】</b> 設定  を“ポポッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます		ロックランプが消灯します。
<b>【浴室・サブリモコン】</b> ▲ を“ポポッ”と鳴るまで3秒以上押し続けます		ロックランプが消灯します。

- メモ**
- ロック機能の設定/解除は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。
  - 省電力機能(→P.16)で画面が消えているときに設定スイッチを3秒以上押し続けても、ロック機能の設定/解除は行えません。画面を表示した後、再度設定スイッチを3秒以上押し続けてください。

# メインリモコンのその他の機能

1 2



メインリモコンではアラーム表示時のブザー音の音量を変更することができます。操作の方法は運転スイッチ「切」の状態の説明します。

## ■ブザーの音量を変更する

操 作	操作後の画面	説 明
<b>1</b> 音量の右に  が表示するまで  を押します		音量が点滅します。 設定されているサンプル音が流れます。
<b>2</b> 上  または 下  を押して、音量を設定します 設定後、しばらく押し操作がないと確定します 音量の目安 0 (無音) 1 (小) 2 (中) 3 (大)		上  下  で入力した音量のサンプル音が流れますので、お好みの音量に設定してください

③: 工場出荷時

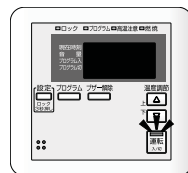
- メモ**
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
  - 音量の変更は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。
  - 音量を無音に設定するとブザー音は流れません。
  - スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピピピピッ”の音は調整できません。また、サブリモコンのブザー音の音量は調整できません。

## ■省電力機能について

5分以上スイッチ操作や給湯を使用しないときに、メインリモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



スイッチ操作や給湯使用が5分以上ない場合



ランプの点灯はそのままですが、画面表示がすべて消えます。

## ❗ご注意ください

- メモ**
- 省電力機能で画面が消えている時にリモコンのスイッチを押すと、画面を表示します。このとき、押されたリモコンのスイッチの動作は、行われません。
  - 省電力機能を解除することはできません。

# 冬期の凍結予防をするには

**注意** ●暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。  
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

## ■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温-15℃程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。電源プラグを抜いたら分電盤のブレーカーを「切」にすると、凍結予防装置がはたらきません。




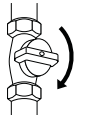
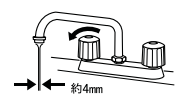
- 凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 給水・給湯配管は凍結する場合があります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど地域に応じて処置をしてください。

※機器本体およびマルチコントローラの循環ポンプ用端子を使用し循環回路を組んでいる場合は、気温が下がってくると自動的に循環ポンプが運転し、循環回路内を凍結予防します

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

## ■給湯栓の水を流す方法

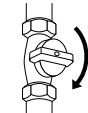
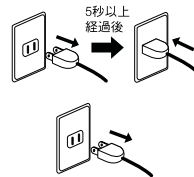
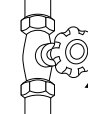
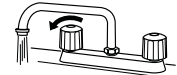
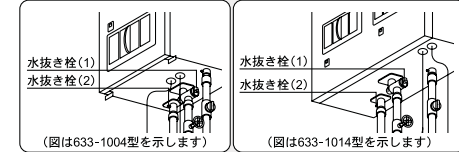

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操 作	説 明
<b>1</b> 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします 	必ず行います。
<b>2</b> ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
<b>3</b> 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます 	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

- 重要**
- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
  - 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.4)
  - シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

# 冬期の凍結予防をするには

**機器の水を抜く方法** 入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

操 作	説 明
<b>1</b> ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
<b>2</b> 電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上経過後、電源プラグをコンセントに差し込みます。15秒経過後、再び電源プラグを抜きます 	機器の周辺にあります。
<b>3</b> 給水元栓を閉じます 	給水元栓は機器の下部にあります。
すべての給湯栓を全開にします 	
<b>4</b> 水抜き栓(1)(2)を外します 	
<b>5</b> 完全に排水したことを確認後、すべての水抜き栓を元のとおりに取り付けます 	

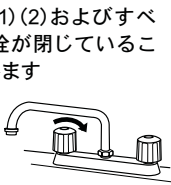
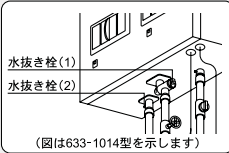
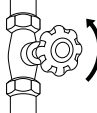

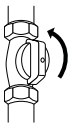
**お願い** ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

## 冬期の凍結予防をするには

### ■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。


操 作	説 明
<b>1</b> 水抜き栓(1)(2)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します 	 
<b>2</b> 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します 	給水元栓は機器の下部にあります。 水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。
<b>3</b> 電源プラグを差し込みます 	コンセントは機器の周辺にあります。
<b>4</b> ガス栓を開けます 	ガス栓は機器の下部にあります。
<b>5</b> メインリモコンの現在時刻を設定します(→P.10)	

**お願い** ●再使用するときは、水抜き栓を元のとおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

## 冬期の凍結予防をするには

### ■凍結したときは

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
<b>1</b> ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
<b>2</b> 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
<b>3</b>  を押して リモコンを「切」にします 	
<b>4</b> とどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます	給水元栓は、機器の下部にあります。
<b>5</b> 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます  	機器の下部にあります。
<b>6</b>  を押して リモコンを「入」にします 	

**お願い** ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■点検のポイント(月1回程度)

次の11のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？  
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気筒・排気筒トップのそばに燃えやすいものはありますか？  
また、整然とされていますか？  
機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 排気筒トップへの積雪や、屋根から落ちた雪により排気筒トップがふさがれていませんか？  
排気筒トップがふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。  
積雪時には排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気筒トップをふさくおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 7 排気筒に損傷や詰まり外れているところはありませんか？
- 8 給気フィルターにゴミ・ほこりが詰まっていますか？
- 9 給気フィルターの変形・破損はありませんか？
- 10 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？
- 11 給気フィルターが物などでふさがれていませんか？



## ■定期点検のおすすめ(有料)

●業務用機器は家庭用の一般機器と異なり、使用頻度も高くなるため、機器を安心してより長くご使用いただくために、機器の定期的な点検診断を行う、保守点検契約をされることをおすすめします。  
保守点検契約についてはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

## ■お手入れのしかた

### 機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。  
変色・変形する場合があります。



⚠警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

### ❗ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。  
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- メインリモコン・サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿形サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

🙏お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどではふかないでください。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■給気フィルターの掃除(こまめに掃除)

給気フィルターはこまめに掃除してください。給気フィルターに油煙やほこりが詰まると、メインリモコンにアラーム番号"051"(サブリモコン・防湿形サブリモコンには"05")が点滅表示し、アラームブザーが鳴ります。アラームブザーの停止は、メインリモコンまたはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。

1 運転スイッチを押して運転を「切」にします

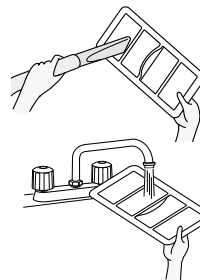


2 上にずらして手前に引くとフィルターが外れます

給気フィルター  
上にずらして  
手前に外す



3 ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします  
油汚れのひどいときは、台所用中性洗剤で洗ってください  
※洗剤は、よく洗い流してください。



4 元のとおりに取り付けます  
給気フィルターが濡れている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。  
運転スイッチを「入」にして、再使用してください



### ❗ご注意ください

給気フィルターがきちんと装着されていないときは、機器を使用できません。  
※運転スイッチを「入」にしたときメインリモコンにアラーム番号"201"が点滅します。  
運転スイッチを「切」にして、再度装着し直してください。

### ❗ご注意ください

●給気フィルターのお手入れの際には、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。

### 🙏お願い

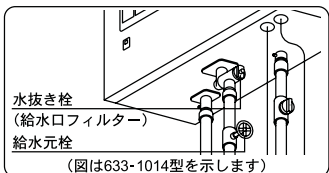
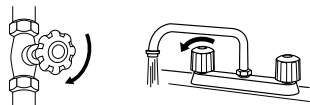
- ベンジン・シンナー・みがき粉などでふいたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
- 給気フィルターを外したまま使用したり、濡れたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因となります。
- 給気フィルターの掃除回数は使用場所により異なります。汚れてきたら掃除してください。633-1014型の場合、給気フィルターを掃除する際は、必ず2ヶ所の給気フィルターを同時に掃除してください。  
※給気フィルターが変形・破損したときには、お買い上げの販売店でお求めください。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に新築などの場合)

### 1 給水元栓を閉じ、給湯栓を開けます

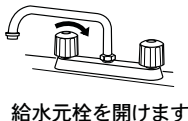


### 2 給水接続口にある水抜き栓を外します

### 3 歯ブラシなどで洗います



### 4 水抜き栓を元のように取り付け、給湯栓を閉じます



給水元栓を開けます

- お願い**
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
  - 再使用するときは、水抜き栓を元のとおり確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

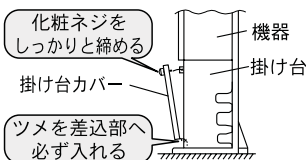
## ■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

### 【掛け台カバーについて】

掛け台カバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

## こんなとき

## ここを調べてください

リモコンの画面に  
表示が出ない

- 省電力機能中ではありませんか (→P.16)
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか (→P.9)
- 停電していませんか (→P.4)

リモコンのスイッチを押しても操作できない

- ロックランプが点灯していませんか (→P.15)

燃焼ランプが点灯しない  
お湯が出ない  
運転しない

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか (→P.9)
- マルチコントローラの電源は入っていますか (マルチコントローラを使用している場合)
- 停電していませんか (→P.4)
- ガス栓が全開になっていますか (→P.9)
- 給水元栓が全開になっていますか (→P.9)
- 断水していませんか (→P.4)
- 給湯栓が十分開いていますか (→P.11)
- 給水口フィルターが詰まっていますか (→P.23)
- 凍結していませんか (→P.20)
- ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか
- LP ガスの場合、ガスがなくなっていないですか
- 上記を確認後 (リセット操作)

燃焼ランプが点滅した

- ガス栓が全開になっていますか (→P.9)
- 給水元栓が全開になっていますか (→P.9)
- 給水口フィルターが詰まっていますか (→P.23)
- 給気フィルターは正しく装着されていますか (→P.22)
- 上記を確認後 (リセット操作)

高温のお湯が出ない

- 温度調節は適切ですか (→P.11)
- ガス栓が全開になっていますか (→P.9)
- シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を最高温に設定してください

低温のお湯が出ない

- 温度調節は適切ですか (→P.11)
- 給湯栓が十分開いていますか (→P.11)
- 給水口フィルターが詰まっていますか
- 給水元栓が全開になっていますか

運転中に機械から異常音が聞こえる

- 点検依頼をしてください

### 【リセット操作】リモコンを取り付けていない場合】

電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上経過してから再度電源プラグをコンセントに差し込みます。

### 【リモコンを取り付けている場合】

運転 または 運転 を一度「切」にし、5秒以上経過してから 運転 または 運転 を「入」にする。

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長くお使いいただくために



# 故障かな?と思ったら

## ■こんなときは故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りにすぎて水になった	この機器は通水量が約 3.0L/分以下になったときには、消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
冬期水温が低いとき高温のお湯が出ない	冬期など、水温が低いときに高温のお湯を得ようとすると、出湯量を少なめに使用してください。出湯量を多くすると熱いお湯が出ない場合があります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量に変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したりすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために、自動的に湯量調整をしています。すぐには湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
給湯栓を閉じると、水抜き栓から一瞬水が漏れる	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給水側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかかえています。圧力を逃すために水が出る場合があります。
お湯を使っていないのに時々給湯器が燃焼する 循環ポンプが止まったり動いたりする	システム(複数台設置)で循環回路を組んだ場合、循環回路内のお湯の保温のため、実際にお湯を使わなくても給湯器が燃焼することがあります。また、循環パターンにより、循環ポンプがON-OFFします。外気温が低く、機器内の凍結予防装置がはたらくと、循環ポンプがONになります。
寒い日排気筒から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた状態が30分以上続いた場合の再通電時には、時刻表示が「1:00」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.10)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは  
お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

# 故障かな?と思ったら

## ■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号の点滅表示とブザー(防湿形サブリモコンはブザーが鳴りません)でお知らせし、自動的に運転を停止します。ブザーはメインリモコンの<sup>2</sup>を押すまたはサブリモコンの<sup>3</sup>を押して解除します。(アラーム番号の点滅表示は解除されません)  
アラーム番号が表示点滅したときは不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

アラーム番号	原因	処置	アラーム番号	原因	処置
111	点火不良	ガス栓が全開であることを確認後(リセット操作) ↓ それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼する	031	湯調選択ミス	修理を依頼する
121	失火		051	給気フィルター詰まり	給気フィルターを清掃後、正しく装着(→P.22)
311	出湯温サーミスタ断線・短絡		131	CO警報器作動	修理を依頼する
321	入水温サーミスタ断線・短絡		201	給気フィルター外れ	
331	混合温サーミスタ断線・短絡		211	風圧スイッチ異常	
441	流量センサ故障		301	CO警報器断線・短絡	機器の燃焼累計時間が20,000時間を超えました。しばらくは使用できます(アラームは消えませんが)のCOセンサの寿命のため早めに修理を依頼する
510	元ガス電磁弁故障		381	COセンサ異常	
511	ガス電磁弁故障		391	フレームロッド断線	
611	ファン回転異常		741	メインリモコン通信異常	
631	外部循環ポンプ故障		751	サブ防湿形サブリモコン通信異常	修理を依頼する
651	水量制御弁故障		761	熱源機通信異常	
661	ハイパス弁故障		901	不完全燃焼防止装置作動	
701	制御基板異常		991	燃焼異常表示作動	
711	ガス電磁弁駆動回路故障				
721	擬似炎検出				

リセット操作 <sup>1</sup> または <sup>2</sup> を一度「切」にし、5秒以上経過してから <sup>1</sup> または <sup>2</sup> を「入」にする。

### 【メインリモコン】

アラーム番号の点滅表示とブザーが鳴ります。ブザーは<sup>2</sup>を押して解除します。



【メインリモコン】

### 【サブリモコン・防湿形サブリモコン】

簡易表示のため、アラーム番号の上位2桁を点滅表示します。また、サブリモコンではブザーが鳴ります。ブザーは<sup>3</sup>を押して解除します。



【サブリモコン】



【防湿形サブリモコン】

長くお使いいただくために

## アフターサービスについて

### サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.24～26)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
  - (2) 型番:(例) 633-1014型  
ガスの種類:(例) 13A  
※銘板をご覧ください。(→P.2)
  - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
  - (4) 訪問ご希望日

### 保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

### 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなりすぎないように場所をお選びください。また、排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

### アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

### 長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
  - (1) ガス栓を閉じます。
  - (2) 給水元栓を閉じます。
  - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.18)
  - (4) 電源プラグを抜きます。

## 仕様一覧

### 〔仕様表〕

項	目	内容
型番		633-1014型
型式名		GS-A5000GE
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅630×奥行300×高さ642/48
種類	湯方式	先止め式
設置方式		屋内壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水圧		100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm <sup>2</sup> )
最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm <sup>2</sup> )
接続	ガス	20A(R3/4)オネジ
	給水	25A(R1)オネジ
	給湯	25A(R1)オネジ
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	リモコン側	DC24V以下
	待機時	11.0W(メインリモコン取り付け時)
	消費電力	170W
安全装置	凍結予防時	310W
	電源コード	VCT(2心)機外長2.0m
安全装置		ファン回転検出装置(燃焼ファン) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ)
		空だき防止装置(水量センサ) 空だき安全装置(パイメタル式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 風圧検知装置(風圧スイッチ) 不完全燃焼防止装置(COセンサ)

### 〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW(kcal/h)	出湯能力(最大時)(ℓ/分)		ガス接続	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇		
都市ガス	13A	108kW{92,900kcal/h}	50.0	31.3	20A(R3/4)

- ◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
- ◎出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
- ◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。
- ※十分な出湯能力を出すためには、200kPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)以上の水圧が必要です。

# 仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
型番		633-1004型
型式名		GS-A3200GE
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅336×奥行300×高さ686/27
種給湯方式		先止め式
類設置方式		屋内壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水圧		100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm <sup>2</sup> )
最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm <sup>2</sup> )
ガス給水		20A(R3/4)オネジ
給湯給水		20A(R3/4)オネジ
電源		AC100V(50/60Hz)
リモコン側		DC24V以下
待機時		5.0W(メインリモコン取付時)
消費電力	定格	101W
	凍結予防時	210W
電源コード		VCT(2心)機外長2.0m
安全装置		ファン回転検出装置(燃烧ファン) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 空だき防止装置(水量センサ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ) 空だき安全装置(バイメタル式) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 風圧検知装置(風圧スイッチ) 不完全燃焼防止装置(COセンサ)

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}	出湯能力(最大時)(ℓ/分)		ガス接続
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス	13A	70.3kW{60,500kcal/h}	32.0	20A(R3/4)

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/cm<sup>2</sup>}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

# 仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
型番		638-1022型
型式名		MC-08
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅352×奥行130×高さ580/10
電源		AC100V(50/60Hz)
消費電力(無負荷時)		6W
出力端子		循環ポンプ用電磁開閉器用端子(AC100V 0.5A)
		外部ファン用電磁開閉器用端子(AC100V 0.5A)
		週間プログラムタイマー用出力(AC100V 0.5A)
		AC100V外部出力(AC100V 0.5A)
入力端子		アラーム接点
		風圧スイッチ※
熱源機との接続		週間プログラムタイマー※
		通信コード用端子(4ヶ所)
接続可能台数		リモコン接続端子(2ヶ所)
安全装置		50号:10台 32号:20台まで 漏電安全装置(漏電ブレーカー)

※現地調達品

長くお使いいただくために